人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

70号

大日化成株式会社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755　FAX：06-6909-6702
URL：https://dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法　水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN RX 工法

2025年 新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年も、多くの皆様のご支援に支えられ、新たな挑戦を続けることができました。この場をお借りし、改めて感謝を申し上げます。

昨年、日本では石破総理、アメリカでは大統領選で勝利しましたトランプが終結させると公言しておりますが、早期に紛争終結出来るのか不明ですし、イスラエルとハマス・イランとの紛争は長期の紛争が予想されます。

トランプ大統領はウクライナ戦争を台湾を2027年までに統合する方針であり、沖縄も中国の領土だと言い始めております。各国の首脳はトランプ大統領、習近平、プーチン大統領の言動に困惑しながら国の政策を決定しています。

我国も混沌とした世界情勢の中、石破総理には国民の政治不信を払拭まず局を安全、安心な国に導いてくれることを切に願っております。

東アジアにおきましても、習近平が

経済面では円安の影響で、外国人観光客が日本中の有名所に大勢来過ぎている様に思えます。都市部の宿泊費は倍近くなり、原料、人件費の高騰は何処まで上がるのか心配です。皆様には大日製品を安定供給していきたいと思います。

大日化成は「独創の技術で明日を拓く」を掲げ、皆様と共に、変わりゆく時代に柔軟に対応しながら成長を目指しました。2024年の新商品「BIGSUNトップ」は柔軟で自己消火性を有し高級な美観で超耐候性のトップコートです。特に施主様、設計者様、リフォーム業者様から好評を頂きました。

2025年も新商品を上市して社会全体がより良い未来に向けて前進するために、私たちも引き続き努力をみなさまに重ねる所存です。

水系、分野、価値の革新を生み出し、提供を使命とし、地域社会に貢献できる企業であります。

また、近年ますます重要性を増す、持続可能な発展に寄与すべく、環境問題へ取り組みや企業の社会的責任をなどの未来世代へ重視し、つとなる持続可能な社会へ注力をする企業であります。特に、

土木・建築の分野では、これまでに蓄積してきた技術と経験を生かし、より革新的なサービスの提供に向けて開発を進めてまいります。

お客様にとってより身近で、役立つ存在となれるよう、新しい製品やサービスの導入を計画しております。これにおけます課題解決に皆様の生活や事業、共に寄り添い、未来を築いていきたいと考えています。

また、人材の育成とチームワークの強化にも力を入れ、全社員が一体感を持ってまとまり組む企業風土を育てます。一人ひとりの個性を活かす職場環境を整能力が発揮されることで、社員一同が高い目標に向かってチャレンジすることで、皆様に最高の価値をご提供できるよう努めてまいります。

代表取締役社長　小林直樹
大日化成製品の使用、施工動画集は以下を参照して頂ければ幸いです。
https://www.youtube.com/@dainichikasei

仮防水材 一刻（ひととき）

弊社の仮防水材一刻（ひととき）の紹介をします。2017年より販売しており、主にアスファルト防水、シート防水等の改修工事の際の仮防水材として、販売、採用されております。

材料は液材と粉材の2材型で、液材と粉材を1：1で配合すればローラー施工可能な仮防水材（防水層塗布量0.8～1.2kg／㎡）となり、液材と粉材を1：2で配合すれば、仮防水材兼下地調整材として、コテで施工可能な材料（防水層塗布量1.0～2.0kg／㎡）となります。

既存防水材を撤去した際の下地の不陸の大きさにより、施工方法を選べる為、ユーザー様に大変好評です。

数年前まで、公共の改修工事における仮防水は仕様書の明細等に入っておらず、施工業社が漏水を発生させないように、予算がない中、施工業者の判断で、施工するという状況でした。

しかしながらこの数年で、ゲリラ豪雨増加の影響等もあり、公共工事における仮防水の必要性が認識され、関西地区、九州地区を中心に、公共改修工事の仕様書に仮防水の予算が付き始めました。今後は全国的な動きになると予想されます。

発売間もない頃に宮崎県内で施工した例を紹介します。ある中学校の屋上部分のアスファルト防水撤去後の仮防水として、一刻を採用してもらいました。大規模な面積だったため、部分的にアスファルトを撤去し、その箇所に一刻を施工しました。

翌日以降にウレタン防水を施工し、問題がなかったとの報告を聞いております。一刻の施工が簡単であること、硬化が速い点、耐溶剤性能がある点等を評価してもらいました。

当時は仮防水材としての使用方法しかなかったため、施工店、販売店の担当者から、この材料で粉の配合を2倍にして、下地調整材を兼ねる事はできないか？との無茶な要望があり、技術部の担当者にも「また、無理なこと言って」と嫌がられましたが、今となっては良いアイデアをもらい、製品改良のきっかけとなりました。

最後に仮防水の問題点について記します。

仮防水には業界的な定義がありません。試験規格、塗布量等、何も決まったものがありません。仮防水の施工後、次の防水が施工されるまで、何日大丈夫か？このような質問が頻繁にあり、いつも回答に苦慮します。

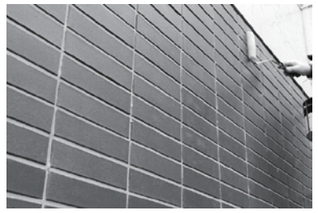
仮防水材は既存の防水層を撤去して次の防水層を施工するまでの一時（ひととき）だけ漏水を防止する材料ですので、どこまでの防水性能を求めるのか本防水との線引きが難しく、今後の課題でもあります。

今後も様々な現場に採用されるように、ユーザー様、販売店様の要望に応えられるように製品開発をすすめたいと思います。

スカイコートW

＜タイル張り面の透明外壁防水材＞

スカイコートWは、透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。透明な塗膜な為、タイル仕上げの意匠性をそのままに雨水の侵入を防ぐことができます。



透明な塗膜でタイル仕上げの意匠性はそのまま!!

主な特長

1. オール水系
2. 超高性能被膜
3. 優れた施工性
4. 防カビ・防藻機能

詳しくは
YouTube
大日化成
チャンネルで

大日化成チャンネル

こんなところで活躍しています

駐輪場屋根（VUS500）

下地調整材シリーズ 他工法でも活用いただけます

スカイレジンWE

スカイレジン WE は水系エポキシ樹脂をベースとするローラー施工タイプのエポキシポリマーセメント系下地調整材

EPC－T

2材型・水系エポキシ樹脂ベースの薄付けタイプ素地調整材 下団1種合格品

エポフィラー

水系エポキシモルタルでありながら画期的な2材で使いやすい

プライマーE

各種溶剤系及び無溶剤系、水系材料の下塗りプライマーとして使用が可能

BIGSUN ラピタルエース

＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

**速硬
軽量
薄塗りから
厚塗りまで可能
取扱簡単!!**

意外と手軽に可能な屋上・壁面緑化

企業にとって緑化は利益を生むのか？ということが問われます。屋上なり壁面なりに緑化が無くても建物は完成しますし、居住するにはなんら問題は有りません。

そういった見知から「緑化は多大な費用が掛かり無駄なもの」という固定概念が少なからず存在します。しかし本当にそうでしょうか？たとえばこれまで幾度となくご紹介してきた、夏場の冷房経費の削減。

毎年夏になると「観測史上最高気温」という報道があります。年々じわじわと暑くなり、冷房がフル稼働します。28度設定が経済冷房と言われていますが、条件によっては息苦しい暑さです。28度に拘るばかりに働いている人の思考が衰えて、生産効率が下がり却ってマイナスになりかねません。

東南アジアの国々での冷房は寒いくらいです。しかしそこまで下げる必要はありません。なかには冷房の苦手な方もいらっしゃるので、大多数の人が快適と思われるところを探り、それに合わせることが必要かと思います。

半面冷房費も上がります。これは目に見える値で出るので企業側としては経費が多いと強く感じがちです。

そこで、冷房の経費を抑えつつみんなが快適に近づけることが可能なのが「緑化」なのです。ところが。緑化には多大な金額が掛かりそうだという思いもあるかと思います。

全ての建物が単純な四角い立方体ではありませんし、壁面もさまざまです。

その様な有る程度さまざまな形状に対応出来るように考慮し手軽に施工可能な「緑化システム」をご提供しております。

スタッフ紹介

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

派遣として勤めていましたが、ご縁があり10月から大日化成社員として入社致しました。東京支店・事務員の杜本と申します。

私の業務内容としましては、受注、電話対応業務をしております。受注をメインで担当していますが、素早く捌けるよう日々精進しております。

前職は8年程美容業界に勤めておりました。元々細かい作業など没頭する性格であり、アートが得意です。

技術者だけでなく事務業務や指導なども行っていた為、【新入社員を育成する】ことへの学びはとても身につきました。当時は独立をすることを目標にしていましたが、目前でパンデミックにあたり今に至ります。

私は好奇心旺盛な為、趣味がたくさんあります。趣味の一つ目は旅行です。海が好きで、南国圏に行くことが多いです。その中でも、一番の記憶に残っている国は、オーストラリアです。

自然の色がくっきり鮮明で初めて綺麗な色を見た気分でした。次に行きたい国は、マルタ島です。いつか行ける日が来るのを楽しみに節約して日々過ごしています。

二つ目はスポーツ観戦でいま楽しみにしているのは、今回、東京で開催される世界リレーです。運よくチケット当選したので現地で応援できるのが待ち遠しいです。

先ほども申し上げましたように、好奇心旺盛なので美容業時代ではパソコンを使う事務業務にも興味がありました。ですが、想像していた事務業務より実際の業務は思っていたものとはかけ離れていました。

技術職からの事務業務なんて勤まるのか不安でしたが、根気強く自分が理解するまで質問しても優しく教えてくれる先輩方に助けていただける環境のおかげで今は受注業務を担当させていただいています。

改善提案等も受け入れていただけるので、更に効率よく作業が今後出来るように状況把握などを頑張っていきたいと思います。

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

●本社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755(代)　/　FAX：06-6909-6702
●東京支店
〒105-0012　東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL：03-3436-3801(代)　/　FAX：03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

次号も
お楽しみに

URL：https://dainichikasei.cp.jp

Vol.67

映画で学ぶ環境問題

黒部の太陽

監　督：熊井 啓
原　作：木本 正次
出　演：三船 敏郎
　　石原 裕次郎
制　作：三船プロダクション
　　石原プロモーション
配　給：日活
上　映：196 分
公　開：1968 年

昭和30年初頭、戦後復旧が進み高度成長期が始まった頃に電力不足が深刻化し、工場では週に3日、一般家庭では週に2日の送電停止（今でいう輪番停電）が行われていました。そのような状況から脱するべく関西電力が黒四ダム建設に着手します。

黒部川の水力発電は大正時代から始まっており、昭和15年には黒部川第三発電所が操業開始していました。その次に当たるので、黒部第四発電所・つまり黒四ダムというわけです。子供の頃なんで黒部ダムなのにクロヨンダムというのか疑問に思っていました。

第四発電所が計画された場所は豊富な水量と大きな落差があり水力発電には非常に優れた環境ですが、これまで人を寄せ付けなかった非常に厳しい自然環境が建設を阻みます。ダム工事といえば大型の重機などは必須なのですが、当時は人道すらありません。人が一人やっと通れるくらいの道を作りつつ進んでいかないといけない状況で、建設の調査隊に死者が出るほど困難な道のりでした。

そのために山の向こうに資材を運び込むためにアルプス山脈をぶち抜くトンネルが必要だったのです。黒四ダムには幾つものトンネルが掘られていますが、その中でも最大の難工事といわれたのが、大町トンネル（現関電トンネル）です。

本作はこの難工事である大町トンネルを掘ることを主に描かれた作品です。

映画化も当時としては破格の制作費が投入され、関西電力はもとより実際に工事に携わった建設会社も大々的に協力し、チケットも購入するといった企業コラボの先駆けです

なかでもトンネルの途中に、岩盤の中で岩が細かく砕けた軟弱な地層である破砕帯があり、ここからアルプス山脈に眠っていた膨大な水と土砂が噴出し、工事が中断せざるを得ない状況になります。

結果として破砕帯は約80mだったのですが、あふれ出す水（0℃に近い水温）を回避させるためのパイロットトンネルを幾つも掘り、犠牲者も出し約7ヶ月掛かって突破しています。

作品中も崩落して大量の水が噴出するシーンがメインに描かれていますが、CGのない時代に実際に何百トンもの水を流して撮影した際の水量が想像を絶する勢いで、主役の石原裕次郎氏もけがを負い、他のキャストやスタッフに死者をだしてしまったと思ったそうです。幸いにも映画では犠牲者は出ていません。

そのような難工事を経て昭和三八年に竣工し、京都府の80%・大阪府の20%の電力を確保出来るようになりました。総工費は513億円（当時）。現代に換算すると一五倍程度？の7700億。青函トンネルでさえ約7000億、建設時の昭和38年でというと天文学的な建設費がかかっています。

黒四ダムでの発電は現代でも関西の電力需要をになう一端になっています。毎日当たり前のように使用する電気です。部屋の灯りはもとより大抵の方が使っているスマホ、家電、交通などなど現代人にとっては空気や水のような感覚ではないかと思います。

黒四ダムですが現在は観光地としても有名で、ダムから放水される途方もない水量は圧巻ともいえます。（この放水は観光放水で実際には発電していません）、その片隅には大工事で犠牲になった方々171名の慰霊碑が建っています。そこには「尊きみはしらに捧ぐ」と記されています。

湯水のごとく使用している電気ですが、このような先人の努力と犠牲によりなり立っているのです。

電力を少しでも控え、無駄な電気を消費しないように心がけようと考えさせられる作品です。